



## 市民要望掲げて奮闘…日本共産党伊勢崎市議団

日本共産党伊勢崎議団は、市民の皆さんからお寄せいただいたご要望やその時々の方々の切実な課題を一般質問や予算・決算質疑などでとりあげ、大きな変化を作り出してきました。

その一部をご紹介します。

※（ ）内は最近取り上げた議会です。

### ●タクシー代助成事業＝くわまるタクシーが実現に。助成割合の拡大とデマンドタクシー実現を引き続き要望中●

電話一本で迎えに来て目的地まで運ぶ「デマンドタクシー」実現を求めてきました。

市は、400円券を年24枚だけ支給するタクシー券から、3千円未満のタクシー代なら年間72回まで半額助成する等の「くわまるタクシー」に、制度を大きく変えました。

しかし、まだ負担が大きく利用が伸びません。また、マイナンバー利用だと翌年度も自動更新なのに、紙チケットを選んだ人は毎年申請しなければなりません。

日本共産党議員団は引き続き、

- ① 助成割合の大幅引き上げを
  - ② 紙チケットの人も、タクシー券の時と同様に2年目度からは電話で申請受付に
  - ③ タクシーが使いにくい地域ではデマンドタクシー実施を
- など、改善や公共交通充実を求めています。

(2022年12月、2023年9月、2024年3月、2025年9月)

### ●高校生世代までの医療費無料化

日本共産党議員団は、中学生以下の子どもの医療費無料化を実現後、高校生世代までの拡大を求めてきました。

県下で進んだ運動で、2023年4月からは伊勢崎市・玉村町・渋川市以外の全市町村で実施に。県は全市町村での実施を県としての制度化の条件としたため、伊勢崎市を含む3市町が開始した同年10月1日を待ってようやく県としての実施となりました。

(2022年6月、2022年12月)

### ●リフォーム助成制度の実現と改善

何度も議会で取り上げ実現。一度は8万円まで下がった助成額を10万円にさせ、対象も拡大に。(予算要望で改善を繰り返し要望)

### ●学校給食費無償化は中学生で実現、小学生は来年度全額国の予算で実現に

長い間の運動と議会での提案が実り、群馬県では35市町村中25市町村が完全無償化に。伊勢崎市でも、今年度から中学生の給食費が無償に。第3子無償化は、最初は中学生以下3人目以降が、高校生以下に改善。

さらに、全国で高まった取組みが実り、来年度からは全額国費で小学生の給食費無償化が決まりそうです。

(2022年6月、2022年9月、2023年6月)

### ●不登校児童・生徒への対応充実

2024(令和5)年度には不登校児童・生徒数がやや減少しましたが、伊勢崎市は他市に比べて大変不登校が多い自治体です。

日本共産党議員団はこの問題を取り上げ続け、2023(令和4)年度から学校内に、登校できたけれど教室には入れない、という子どものために専用の部屋ができました。2024(令和5)年度にはこの部屋の環境を向上させる予算が付き、中学校では専任の支援員が配置され、2025(令和7)年度には小学校でも支援員の配置が始まりました。

保護者・児童に丁寧に対応できるようカウンセラーや支援員の増員・専任配置、フリースクールや通う子への補助、ほっとする一むの身近な場所での開設なども求めてきました。

(2024年3月、2024年6月、2025年12月)

### ●ふくしプラザの入浴施設を含む改修

「エアコンがきかない」「ボイラーが壊れたら入浴施設をなくす」というのが、交流の場がなくなる」という声を受け、議会でこの問題を取り上げました。全館改修になり、入浴施設もリニューアル。利用者に喜ばれています。

(2022年6月、2022年9月、2023年6月)